



浄土宗コドモタイムズ

第76号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
齊藤 一光
〒873-0002
大分県杵築市大字
南杵築371
正覺寺内
TEL 0978-62-3063
FAX 0978-68-8301

色づくイチヨウ

手ぶくろ六ぶて
手ぶくろ六ぶて
お手手がいたい

お手手のイチヨウは
ひろがるはっぱ

手ぶくろ六ぶて
六回ぶたれ
分かれたお指で
手ぶくろぶつた

お手手のイチヨウが
黄色く色づき
イッ手手、イチヨウ
大風ふいた

イッテテ、イチヨウ
六ぶてやめろ

※手ぶくろを下から読むと、六ぶてです。
※イチヨウの葉っぱには、人の手のように葉先が分かれています。



詩・絵
今井 康隆

秋の夜のお客様

文・絵 星木 レイ

まきちゃんは、お母さんと、弟のゆう君と居間に座って梨を食べていました。もう夜の8時ごろです。秋の虫がリーンリーンと鳴いています。まだまだむし暑いので、窓が開け放たれていました。丸いお月さまが雲の間に見えかくれています。

と、その時ブーンと大きな音を立てて飛びこんできた虫がいました。

「わーい！ カナブンだあ！」

ゆう君は大喜びでカナブンを捕まえると、「お母さん、糸ちようだい！」と言いました。お母さんがもめん糸をわたすと、ゆう君はカナブンのくびれのところに糸をくくりつけ、糸の端を持ちました。すると、ゆう君のまわりをカナブンが飛行機のようにブーンブーンと飛び始めました。

「わーい！ わーい！」ゆう君は大はしやぎでカナブンといっしょに走り回りました。

た。

「やれやれ、梨の甘い匂いに誘われてやってきたのかしら」

お母さんがつぶやいた時、もう一匹飛びこんできた虫がいました。大きな蛾です。まきちゃんは、バタバタと鱗粉をまき散らしながら飛び回る蛾が恐くて、お母さんにしがみついていた。やがて飛びつかれたのか、蛾は机の縁にとまりました。じつとして動きません。

まきちゃんが恐る恐るのぞきこんでいると、お母さんが「そうそう」と思い出したように言いました。

「お母さんが小さいころ、そうねえ、まきちゃんくらいの時だったかなー。おばあちゃんがね、亡くなったご先祖さまが、蛾になつてやって来るって言ってたのよ」

「へーっ、そうなの!？」

まきちゃんは目をまんまるくして蛾を見つめました。

「この間亡くなったおじいちゃんがまきちゃんに会いに来たのかも」

お母さんがそう言うと、まきちゃんは蛾

にたずねました。

「もしもし、あなたはおじいちゃんですか？」

その時です。じつとしていた蛾がなんと卵を産み始めました！ 白い小さな丸い卵がきれいに並んでいきます。

「お母さん！ この蛾、おじいちゃんじゃないよ！ だって卵産んでるんだもん。メスだよ！」

「あら！ まあ、ほんとだわー」

お母さんもびっくりして、一生懸命卵を産んでいる蛾をまじまじと見ていました。

そのまわりを、糸でくくったカナブンといっしょに、ぐるぐるとゆう君がはしやいで回っていました。

おわり



ナムナム

質問箱

「もっと集めたい」という欲がわきあがります。朱印帳に自分の集めた朱印が増えていくのも楽しいものです。

このご朱印、スタンプラリーのような感覚で集めていかれる方も多いのですが、実はご朱印とは修行の証として授けられたもの。古い昔は写経奉納の証として、

こたえ

お寺や神社で授かるご朱印。それぞれのお寺や神社で違いがあり、

最近では期間限定の御朱印もあつたりと

「もっと集めたい」という欲がわきあが

ります。朱印帳に自分の集めた朱印が増

えていくのも楽しいものです。

このご朱印、スタンプラリーのような

感覚で集めていかれる方も多いのですが、

実はご朱印とは修行の証として授けられ

たもの。古い昔は写経奉納の証として、

しつもん

ご朱印集めを始めました。お寺でもらう時のルールってありますか。

(小学校5年生)

その後は参拝の証として授けられたのです。「確かにあなたはここのお寺で仏様に手を合わしご挨拶しました」という参拝の証がご朱印です。

ただお寺を訪れてご朱印をいただくの

ではなく、そのお寺の本堂に上がらせて

頂き、仏様に手を合わせご挨拶をする。

お寺に参拝してご朱印を授けていただく

これこそご朱印の心得です。

暮らしの中の仏教語

挨拶



「おはようございます」「こんにちは」と私たちは挨拶をします。この「挨拶」。実は「一挨拶」（いちあい いっさつ）という仏教語が元になっています。

「挨拶」には押し開ける、「拶」にはせまる、すりよるという意味があります。おたがい心を開いて近づいていくのが「挨拶」の語源です。「おはようございます」「こんにちは」挨拶を交わすことで心の距離が近づきます。

挨拶だけでなく、私たちが普段口にする言葉は重要な思いが込められたものばかり。例えば「いってらっしゃい」は「元氣に行って帰ってらっしゃい」という思いやりの言葉です。それに対して「いってきます」は「元氣に行って帰ってきます」という誓いの言葉。食事をいただく際の「いただきます」という言葉は「尊い命をいただく」という私たちが生きる為に失った命を尊ぶ言葉で、「ごちそうさまでした」には食事をご用意してくださった人々への感謝の心と言葉に込められています。

日本人が昔から受け継いできた声に出す言葉、それぞれに意味があり思いがあります。思いを受け継ぎ、大きな声で思いを込めて発していきましよう。

ちがいがし

みんなよう
考えよう



絵：岡本こずえ



お知らせ

◆みなさんからの記事 wait ています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait ています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は 〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築371 正覺寺内 浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0978-62-3063 FAX 0978-68-8301
感想もいっしょに書いてくださいね。



前回の答え

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。
ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。
しめきり令和7年3月15日です。

送り先

〒873-0002

大分県杵築市大字南杵築371

正覺寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0978-62-3063

FAX 0978-68-8301

ぷくぷく編集室



イチヨウの木を知っていますか。秋から冬にかけて葉が黄色くなる木です。木全体が黄色くなる、とてもきれいです。この木は生命力が強く、千年を超えるイチヨウもあります。一説によると、イチヨウは約三億年前に地球上も現われたといわれます。イチヨウにはギンナンという実が成ります。ギンナンのにおいはとてもくさいのですが、皮を取って実を洗い干してから食べるのができます。イチヨウにはオスの木とメスの木があり、ギンナンができるのはメスの木だけです。近くにオスの木があると、花粉が風に乗って運ばれて受粉し実をつけます。ところでイチヨウを漢字で書く「銀杏」、ギンナンも同じく「銀杏」なんです。木と実が同じ漢字なんておもしろいですね。